

専修大学

図書館だより

第67号 2009. 4

CONTENTS	本を読むことの大切さ(図書館長 大庭 健) …………… 2
	シリーズ ムーサの神殿 資料紹介 『全国黒人向上協会(NAACP)青年部史料』(樋口 映美) …………… 3
	月岡芳年展 描く …………… 4~5
	図書館の使い方 基本の“き” 図書の所在を表す請求記号(背ラベルの記号) …………… 6
	『阪谷芳郎関係書簡目録』と 『上野国新田郡大島村大島家文書目録』を刊行しました …………… 7
	図書館インフォメーション …………… 8



「雪月花の内 花 御所五郎藏 市川左団次」月岡芳年 明治23年

本を読むことの大切さ

図書館長

大庭 健



バスの時刻表を調べる、レストラン・ガイドを見る、あるいは今月のチャートを確認するといった場面にはじまって、暮らしで必要な情報は、いまでは携帯やパソコンの画面から効率的に手に入ります。そこでは、いちいち本を探して読む必要もありません。こうした暮らしに慣れきってしまうと、もう本などいらぬかのようにも思えてきます。極端な話、授業の課題でレポートを書くときも、インターネットを検索して、それらしい叙述を見つけて適当にコピー&ペーストすれば何とかなる、という気にさえなってしまう。

なるほど、このように、そのつど必要な情報を集めさえすれば、生きてはいけるでしょう。しかし、もしそれだけで終わってしまったら、人間としての成長も、そこで終わりです。

*

なにか必要な情報を探すときには、自分がいま何を必要としているのか、ということは分かりきったこととされています。さもなくば、探すということさえ出来ません。したがって、そこでは、「これが、本当に自分にとって必要なのだろうか?」「自分にとって本当に必要なことは何なのだろうか?」といった問は、ひとまず封印されて棚上げされています。

しかし、そのように棚上げしてしまった問を、改めてたなおろ棚卸しし、その封印を解いて自ら考え直すこと。このことなしには、人間としての成長はありません。というのも、人間として生きるということは、たんにそのつどの必要を満たすことには尽きないからです。たんにそのつどの必要を満たすだけでなく、「どうするのがいまの自分にとって意味のあることか」と、意味を問わざるをえない、いわば意味への欲求こそが、人間の人間たる

ゆえんだからです。

*

「いまの自分に本当に必要なものは何か?」「どうするのが自分にとっていちばん意味があるのか?」こうした問を前にして自分で考えていくためには、自分が経験したこともない世界・自分には想像もできなかつた世界に接し、そうした世界を経巡りながら、人間の、そして人間の社会の複雑さ、不可解さ、ひいては不条理さに直面することが欠かせません。

そうした自分には想像もできなかつた世界において、人は何を思って、どう生きたのか……。このように翻弄されることによって想像力が拡がり繊細になってくればくるほど、人間としての深みと真実味が少しずつ、ほんの少しずつ、身に付いてきます。

どんなに効率的に情報を収集できるとしても、こうした人間としての想像力が貧困であるならば、そこで提出される意見も提案も、そして理論も、じつは浅薄なものでしかありません。この間の、精緻きわまりない「金融工学」を駆使した利潤追求の破綻もまた、このことを物語ってもいます。

*

自分には想像もできなかつた世界において、人は何を思って、どう生きたのか……。こうしたことを想像しつつ、リアルに考えるには、まさしく本という形をした「アナザー・ワールド」を遍歴するのが一番です。どうか新入生の諸君もまた、たんに役立つ情報をうまく集めるだけに終始せず、人間としての成長をめざしていただきたいと思ひます。

(おおば たけし：文学部教授)

ムーサの神殿：

ムーサ（ミューズ）とは、ギリシャ神話で学問や芸術などあらゆる知的活動を司る9人の女神たちのことです。「ムーサの神殿（ムーセイオン）」は、美術館、博物館、図書館を表しており、ミュージアムの語源となっています。

古代エジプトの首都アレクサンドリアにつくられた総合学術機関「ムーセイオン」は、これに由来しており、その付属図書館が世界最古の図書館といわれています。

『全国黒人向上協会（NAACP）青年部史料』

—アフリカ系アメリカ人の歴史を知る手がかり—

樋口 映美

アメリカ合衆国には独立以前から「黒人」と見なされる人々に対する人種差別が存在した。彼らは奴隷制度が破棄された1865年以降も二級市民として差別され、現在もその子孫たちの多くが差別の眼差しに晒(さら)されている。とはいうものの、その歴史は単純な「差別・被差別」でも、一方的な「闘争史」でもない。そこには複雑な人間模様が展開し、個々の状況のなかで個々の経験が積み重ねられて今日に至っているわけである。

そうした複雑な「人種」をめぐる実態を理解するための史料のなかで、全国黒人向上協会（National Association for the Advancement of Colored People、略称NAACP）の史料は、大量に保存されている数少ない史料群の一つである。NAACPは、ニューヨーク市で1909年に創設され、アメリカ市民としての「黒人」の権利獲得を目指して活動してきた現存の組織で、その史料のオリジナルは首都ワシントンの議会図書館に収められており、理事会記録・年次大会記録・種々の報告書（Part 1）や役員通信記録（Part 2）、教育差別撤廃運動・選挙権獲得運動・リンチ反対運動・労働運動関係など、19のPartに大別されている。

本学図書館が所蔵するNAACP青年部（主にYouth Council）史料（マイクロフィルム77リール）は、Part 19に相当する。これは、Part 1か

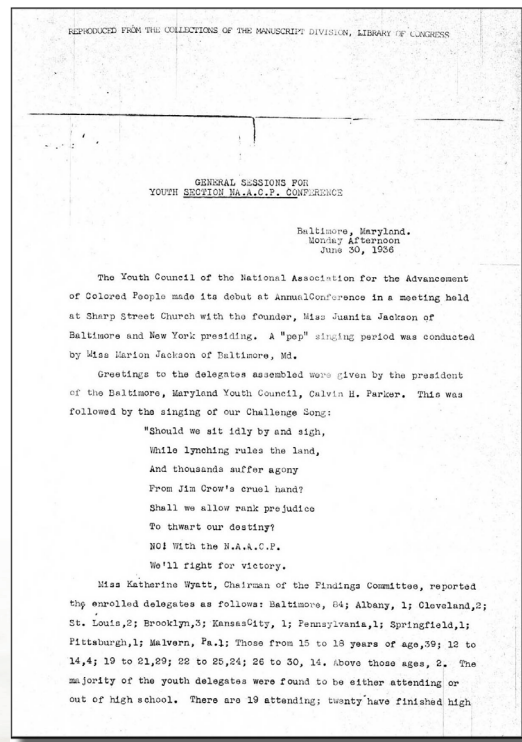
らPart 18の史料群と異なり、若者たちが関わった活動を総体的に展望することができると同時に、本部の若者対策、全国各地の青年部による1919年から（大半は1930年代半ば以降）1965年に至る実に様々な活動の一つ一つ掘り起こすことができる史料である。考えてみれば、1930年代に教育・労働方面で活躍したのも若者であり、1960年2月にいち早く座り込みをしたのも青年部の学生4人であった。その意味でこれは、20世紀における多様な公民権運動の個々の場面を若者たちの視点から探る格好の史料である。

NAACP関連では他にも、1910年創刊の機関誌Crisis（マイクロ史料）が本学図書館に所蔵されている。これは、NAACPの主要な見解・時評・地方支部活動などの記事が掲載されており、青年部史料を補完する史料として活用することもできよう。

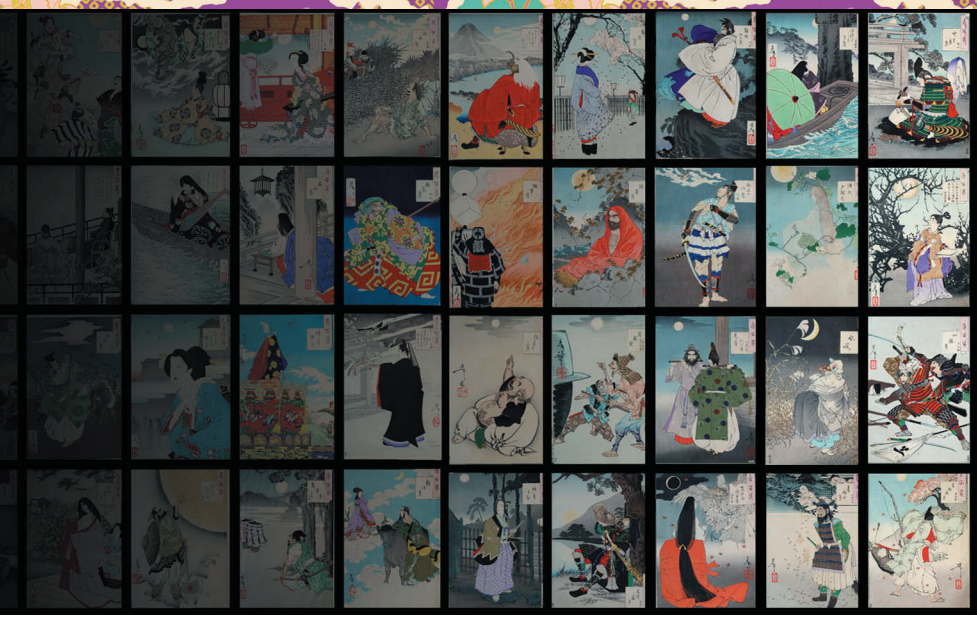
（ひぐち はゆみ：文学部教授）



The Crisis 1965.11, 1966.2, 1966.5 (著者所蔵)



“Youth Conference – Baltimore: minutes and speeches, 1936” Papers of the NAACP, part 19 youth file



月岡芳年展 描く

会期 2009年4月1日(水)～24日(金)

休館日 4月5日、12日、19日※日曜休館

開館時間 午前10時から午後5時まで

会場 専修大学図書館本館 研修室
(専修大学生田校舎9号館3階)

特設サイト <http://www.senshu-u.ac.jp/library/200904/index.html>



今年^{よしとし}は月岡芳年が誕生してから170年目の節目の年に当たります。芳年と言えば、幕末期の不安な世相を反映した「血みどろ絵」が有名ですが、その画業は多岐に渡り、美人画、役者絵、歴史画にも優れた作品を残しています。

今回の展示では「雪月花」「風俗三十二相」「新形三十六怪撰^{しんけい}」「修紫^{にせむらさき}田舎源氏」「月百姿^{つきひやくし}」など、後期の代表作を中心に約80点をご覧いただきたいと思います。

月岡芳年について

井黒 佳穂子

月岡芳年は天保10年(1839)に商家の次男として江戸に生まれ、13歳で歌川国芳の門に入りました。はじめは師の影響を受けて武者絵を中心に活躍しますが、次第に自己様式を確立させていきます。豊かな教養と緻密な描写、確かな造形美により人気を博し、明治18年(1885)には「東京流行細見記」の浮世絵師番付で一位となり、芳年の代表作ともいえる「月百姿」や、「芳涼閣両雄動」「田舎源氏」「奥州安達ヶ原ひとつ家の図」などは、この頃に制作されています。明治24年(1891)には病を發して入院、翌25年(1892)6月9日に54歳で没しました。

芳年には数多くの門弟がおり、中でも水野年方の画系からは鏑木清方、池田輝方、池田蕉園、伊東深水(清方門)など、後に日本画を代表する画家たちを輩出しています。明治31年(1898)、向島百花園に「月岡芳年翁之碑」が、関係者諸氏によって建てられ、現在まで静かに佇んでいます。

(いぐる かほこ：文学研究科日本語日本文学専攻 博士後期課程)

主な展示作品



英名二十八衆句 稲田九蔵新助
慶応3年(1867)



大日本名將鑑 神武天皇
明治13年(1880)



見立多以尽 どふもねむったい
明治11年(1878)



修紫田舎源氏 明治17年(1884)



月百姿 玉兔 孫悟空
明治19年(1886)



月百姿 藤原公任
明治20年(1887)



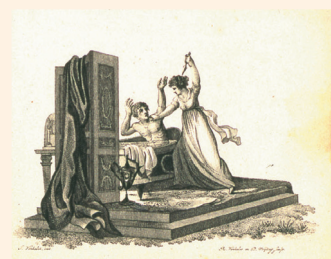
月百姿 源氏夕顔卷
明治19年(1886)

次回展示のご案内

6月中旬にフランス革命関係史料のコレクション「専修大学ミシェル・ベルンシュタイン文庫」の展示を図書館本館で行います。

ベルンシュタイン文庫の展示はこれまでも度々行ってきましたが、今回は「フランス革命と暴力」(仮題)のテーマの下、従来はあまりお目にかけることのなかった史料も展示する予定です。

詳細はホームページ、掲示等でお知らせしますので、是非展示会にお出かけください。



マーラーの暗殺

図書館の使い方 基本の“き” 図書の所在を表す請求記号（背ラベルの記号）

— 意外に知られていない請求記号（背ラベルの記号）のしくみ。
 知っているのと、請求記号を見ただけで、本の分野や配置場所がわかるようになります。 —



図書は請求記号（背のラベルの記号）の順番に配置されています。



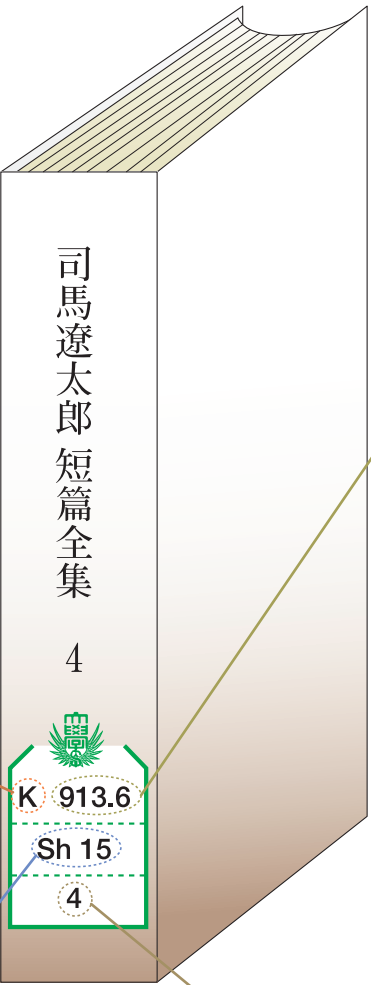
区画記号
資料の種類などを表しています。

資料の種類と区画記号の例	
区画記号	種類
なし	図書 研究者向けの和図書や洋図書
K	学習用和図書 学生向けの和図書
R	参考図書 辞書・事典など
S	統計書 国勢調査や経済統計など
B	法令・判例集 六法全書など
Z	新聞・雑誌
X	文庫・新書判図書 新潮文庫・岩波新書など

分類番号
日本十進分類法に基づいて、本の内容を数字で表しています。

百の位の数字	内容
0	総記
1	哲学
2	歴史 世界史 文化史
3	社会科学
4	自然科学
5	技術 工学
6	産業
7	芸術 美術
8	言語
9	文学

数字は右にいくほど内容を細分化して表しています。
 <例>
 900 文学
 910 文学—日本文学
 913 文学—日本文学—小説物語
 913.6 文学—日本文学—小説物語—近代：明治以後



著者記号
著者名、団体名や書名を記号化したものです。最初のアルファベットは、著者名、団体名や書名をローマ字で表記した時の頭の文字を1～2文字とって表示してあります。

(例) 司馬 遼太郎
 =Shjiba Ryotaro

巻号
巻数・年次などが表示してあります。

この請求記号から、この本は学習用和図書の明治以後の日本の小説で、著者名は「Sh」からはじまり、全集などの4巻目の本だとわかります。

『阪谷芳郎関係書簡目録』と 『上野国新田郡大島村大島家文書目録』を刊行しました

『阪谷芳郎関係書簡目録』 2009.4.1

本学図書館に所蔵されている本学第二代学長・初代総長^{さかたによしろう}阪谷芳郎（1863-1941）関係の書簡1,365点の書誌を収録した『専修大学図書館所蔵 阪谷芳郎関係書簡目録』（A4判 本文106頁）が刊行されました。

阪谷芳郎は、明治から昭和初期にかけ第一線の政治家・政治家として活躍し、大蔵大臣、東京市長、貴族院議員などを歴任しました。

大蔵省入省後まもない明治17年、本学の前身専修学校経済科で経済学・財政学の講義を行っています。大正13年に相馬永胤の後を受け、第二代学長に就任、昭和9年に本学初代総長となり、震災で深刻な被害を受けた大学の復興に尽力するなど長年にわたって多大な功績を残しました。

本学が所蔵する阪谷の書簡は明治17年から亡くなる昭和16年までのもので、差出人・団体の数は420余におよび、大蔵省および政府関係者からの書簡が多くみられます。財界では渋沢栄一、大倉喜八郎、浅野総一郎、大学関係者では福沢諭吉、大隈重信などのものが含まれています。社会的性格の強いものに加え、私信も多く、阪谷の幅広い交流や友人・親族との親交を物語っています。



阪谷芳郎

『上野国新田郡大島村大島家文書目録』 2009.3.1

本学図書館では、日本法制史研究で著名な石井良助、および日本中世史で著名な松本新八郎が収集した地方史料を所蔵し、それぞれ目録が刊行されています。これらに続き、この度『専修大学図書館所蔵^{こうずけのくに}上野国新田郡大島村大島家文書目録』（A4判 本文277頁）を刊行しました。

大島家文書は、元法学部教授・故大島太郎先生の旧宅に保存されていた文書群を、ご夫人の元文学部教授・大島美津子先生より本学図書館にご寄贈いただいたものです。現在は本館特別書庫に保管されています。

大島家は、上野国新田郡大島村（現、群馬県太田市）の村役人・戸長などをたびたび務めた家柄で、本文書群には、村政・行政史料、寺社関係史料、大島家が経営する会社関係の帳簿、領収書類など、慶長期から昭和20年代までの史料6,317点が収められています。この目録では、史料の表題、差出（作成）、宛名（受取）、形態等を表記し、年代順に配列してあります。



明治期 大島村誌

>>>図書館カレンダー

4月							5月							6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30			24 31	25	26	27	28	29	30	28	29	30				26	27	28	29	30	31	★	

開館時間：無印 本館・生田分館 月～金 9：00～21：00（土曜日は19：00）
 神田分館・分室 月～土 9：00～22：00
 ★印 本館・生田分館 月～金 10：00～19：00
 神田分館 月～金 10：00～20：00
 神田7号館分室 月～金 10：00～19：30
 休日開館：◎印 本館・神田分館 日 10：00～17：00
 休館日： 日 10：00～17：00（生田分館・神田7号館分室は休み）

休日開館します。
7月12日(日)、19日(日)、26日(日)

*開館時間の変更および臨時の開館日・休館日は、その都度ホームページや掲示で案内します。
 *法科大学院分館の開館情報は「専修大学図書館カレンダー（法科大学院分館）」をご覧ください。

>>>お知らせ

■図書館講習会

生田キャンパス

本館	図書館入門ツアー	4月6日(月)～24日(金)の 月・水・金 16:30～17:00
	図書館情報検索講習会 第1回	6月22日(月)～26日(金) ①13:30～14:30 ②15:00～16:00
生田分館	図書館入門ツアー	4月6日(月)～24日(金)の 火・木 16:30～17:00

神田キャンパス

神田分館	図書館入門ツアー	年間随時
	図書館情報検索講習会 ～図書・雑誌の探し方～	5月12日(火)、14日(木) 1日2回時間未定 所要時間：約30分
	図書館情報検索講習会 ～判例の探し方～	5月19日(火)、21日(木) 1日2回時間未定 所要時間：約30分
	図書館情報検索講習会 ～前期試験・ ゼミ発表対策編～	6月1日(月)～30日(火)*日曜除く 平日①12:20～12:50 ②19:30～20:00 土曜①15:00～15:30 ②18:00～18:30
法科大学院分館	図書館入門ツアー	4月4日(土) ①13:30～13:50 ②13:55～14:15 ③14:20～14:40 4月5日(日) 13:00～13:20 *4月6日(月)以降も随時受付
	情報検索講習会 第1回	4月4日(土) ①14:50～15:40 Westlaw Japan ②15:50～16:40 LLi統合型法律情報システム ③16:50～17:40 LEX/DBインターネット
	情報検索講習会 第2回	4月5日(日) ①13:30～14:20 LEX/DBインターネット ②14:30～15:20 LLi統合型法律情報システム ③15:30～16:20 Westlaw Japan

*詳細については、開催館のカウンターに問い合わせてください。
 ホームページ、掲示でも案内いたします。

■図書館システムが更新されました

4月1日から図書館システムがUNIPROVE/LS（日立製作所）に更新されました。図書館ではWebからのサービスを充実させることにより、利用者サービスの拡充に努めたいと考えています。新システムおよび新サービスの詳細については、順次お知らせしていく予定です。

■新規オンライン・データベース

平成21年度より、以下のオンライン・データベースが利用できるようになりました。詳細は図書館ホームページをご覧ください。

- JSTOR Arts & Sciences I
- HeinOnline FILRD

ブックエンド

「乙女本」を再読

巷では、名著再読ブームが続いていますが、私も名著を再読してみました。再読したのは昔の女の子の必読書『ジェイン・エア』。中学生の時に読んだ印象は、「陰気つまらない」でした。でも今回じっくり読んでみると、ロマンチックな話ではありませんか。怖いと思っていたロチェスター様の言動は、今でいうところの“ツンデレ”だったのです。数百年ぶりに「乙女のつぼ」を再読されました。次は『嵐が丘』を再読したいです。

奥原由美子：図書課利用サービス係

専修大学図書館だより 第67号

発行日：2009年4月1日

編集・発行：専修大学図書館（館長 大庭 健）

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

Tel.044-911-1274 URL：http://www.senshu-u.ac.jp/libif/lib/index.html